

「西三角経済圏」と三都市概要

岡山県上海事務所 専任スタッフ 馬小琳

西部大開発と西三角経済圏

中国の改革開放政策が始まってから 30 年が経過し、その著しい発展は世界中の注目を集めています。しかし一度国内に目を向けると、国土が広く改革開放政策が段階的に取り組まれたこともあり、深圳市を中心とする「珠江デルタ」や上海を中心とする「長江デルタ」のように、早くから発展してきた沿海部と、発展の遅れた西部内陸部との格差が広がっています。

中国政府はこうした地域格差を解消し均衡ある発展を実現させようと、2000 年から「西部大開発」政策に取り組んでいます。この開発戦略は、本年で 11 年目を迎えますが、西部地区の面積は、中国国土の 71%と広大であり一斉に開発を進めることは困難ですので、更に重点地区や重点戦略を策定して開発を進めています。西部地区は秦嶺山脈により西北地域、西南地域の二つに分けられますが、この内西北地域では陝西省「西安市」を中心とした関中地区が、西南地域では「重慶市」と四川省「成都市」を中心とした成渝地区が重点地区となっています。この三都市を結ぶ経済圏は「西三角経済圏」とも呼ばれ、発展の牽引役として期待されています。

三都市の概要

「西安市」

陝西省西安市は、古くは「長安」と呼ばれ、古来より政治文化の中心として栄えた千年以上の歴史を有する古都です。世界遺産に登録され

ている兵馬俑・秦始皇帝陵や、楊貴妃で有名な華清池等名所旧跡に恵まれているため世界各国からの観光客が多く、また、岡山県の皆さんには遣唐使・吉備真備が学んだ都としても有名でしょう。

現在の西安市は、陝西省の省都であり、第一次五カ年計画期から整備が進んだ工業基盤や多くの大学が輩出する豊富な人材等を背景に開発が進められています。

2009 年に国務院が批准した国家プロジェクト「関中－天水経済区発展計画」では、西安市は、省内周辺都市、甘粛省天水市等で構成する地域の核とされています。当計画では、航空、設備製造、資源加工、文化、観光、物流等の現代サービスを重視し、科学技術力改革のためのモデル基地、先進的製造業の重要基地、農業近代化基地、歴史文化基地の 4 つの基地構想を進めています。

西安市の経済成長は急速に進んでおり、2009 年の GDP 成長率は、14.5%と全国平均の 8.7%を大きく上回っています。都市部の住民の可処分所得も 1 万 8,963 元と全国平均の 1 万 7,175 元を上回っており、市場としての魅力も増しています。西安は中国のほぼ中心に位置し、航空機を利用すれば上海等の大都市に 2 時間以内に移動が可能で、また北西地域の鉄道や道路の結節点という交通の要衝でもあり、内陸市場への参入を目指す場合には拠点の一つとして検討する価値があるのではないのでしょうか。

日系企業は、主に市北部の西安経済技術開発区と南西部の高新技術産業開発区に進出しています。優秀で豊富な人材の供給があり定着率も

高いため、人材の確保については沿海部のような問題は少ないとされています。(面積：10,108 平方km、常住人口：843 万人)

「重慶市」

重慶市は、北京市、上海市、天津市に次ぐ、四番目の直轄市です。中国の南西部にあり、古くから長江を利用した物流基地として栄えてきました。三峡下りの起点としてご存じの方もいらっしゃるでしょう。

経済面に目を向けてみると、西部大開発によるインフラ投資が牽引する形で、GDP 成長率はここ 8 年 2 桁成長を続けており、特に 2009 年には 14.9%と中国で 3 番目に高い成長率を記録しています。しかし、都市化のレベルは 51.6%と大きく遅れており、都市部住民の一人当たり可処分所得額は 1 万 5,749 元と、西安市や成都市のみならず全国平均をも下回っています。山がちで平地が少なく坂道が多い等地理的な制約から 1 力所当たりの商圈が小さく、また、分断されており、これらを繋ぐため市内の公共交通機関の整備が進められているものの消費市場としてはまだ発展途上にあると言えます。

投資環境については、内陸地域では唯一の保税港区（輸出化工区、保税物流区、保税区の 3 機能を併せ持つ地域）である「両路寸灘保税港区」があり、本年 2 月には新たに「西永総合保税區」の設置が認可され、また、6 月には「両江新区」が設立されるなどの整備が進められています。「両江新区」は、上海市浦東新区、天津市濱海新区に次ぐ中国 3 番目の国家級新区であり、自動車、物流、装備製造、ハイテク及び軍需産業を育成し、先進製造業基地を目指しています。日系企業としては、スズキ、いすゞ、マツダ等が進出していますが、電力不足による電力供給制限や部品調達先の不足等問題点を指摘する声もあり、まだ進出数が多いとは言えません。(面積：82,403 平方km、常住人口：2,859 万人)

「成都市」

2010 年 6 月号「中国内陸部の御紹介 四川省成都市の産業誘致政策」をご覧ください。

経済圏の今後

外資・内資企業共に沿海部から西部内陸部に移転する傾向が強まっており、西部地区の都市間では投資誘致を巡って激しい競争が繰り広げられていますが、中国政府では交通インフラの整備等により各都市が緊密に協力できるような基盤づくりを促進しており、今後も都市間の経済的な結びつきを強めるような政策が打ち出されるでしょう。西部地区の三大都市である、西安市・重慶市・成都市を結ぶ経済圏「西三角経済圏」が圏域として発展することは、西部地区のみならず中国全体の発展に繋がるものと期待されています。

(2010年9月)